

地域人材ネット

地域の課題を解決しながら「まちのブランド作り」推進

板垣 信行 (いたがき のぶゆき)

株式会社博報堂プロダクツ 事業企画室地方創生事業推進部
シニア・エグゼクティブ・プロデューサー



○ 登録者情報

所在地

福岡市博多区

略歴

- 1984年 早稲田大学商学部卒業 商学士
- 1984年 団体職員として心のケアマネジメント業務に従事
- 1996年 博報堂グループ会社に転職 主にマーケティング、プロモーション企画設計業務に就く
- 2009年 現(株)博報堂プロダクツに転籍 プロモーションプランニング部部長就任
- 2011年 同社 店頭プロモーション事業本部長就任
小売り・流通の現場において「売れる売り場」にするためのコンサルティング業務に従事
- 2014年 同社 九州支社長に就任
主に西日本に本社を置く民間企業のブランディング業務に従事
- 2019年 同社 執行役員に就任(九州支社長兼務)
主に、地方自治体の課題解決・ブランディングのための事業立案、実施業務に従事
- 2022年 社会構想大学院大学 地域プロジェクトマネージャー養成課程修了
- 2023年 3月末にて役職定年
同時に同社にて地方創生事業推進部を立上げ、シニアエグゼクティブプロデューサーに就任

著書・論文等

専門誌、WEBサイトへの寄稿として

2023年 「地方創生について思うこと」 弊社公式noteへ寄稿

<https://note.com/hakuhodoproducts/n/n9ea444236c5a>

2022年 「地域課題を解決するクリエイティブ」 月刊事業構想5月号に寄稿

2013年 「データに基づく売り場改善」 月刊販促会議4月号に寄稿

2012年 「広告会社の販促評価指標」 月刊SC JAPAN TODAYに寄稿 他

○ 地域の課題を解決しながら「まちのブランド作り」推進

取組の内容

現在は西日本を中心に、官民連携による地域課題解決、まちのブランディングに携わっています。

ブランディングを最も平易な言葉で表現すると「好きになってもらうための活動」です。

ブランディングの専門家として、また、地域プロジェクトマネージャーとして、その地域を好きになってもらうために、「好き」を阻害する要因となる課題を、現場を具に観察し、住民や役場職員の方々とワークショップ等を通して発見し解決策を見出し、その実現の為に必要な民間プレイヤーと役場をブリッジしながら官民共創のプロジェクトを推進していきます。

地方創生のために解決しなければならない課題は地域によって様々ですが、詰まるところゴールとするのは「人口減少の抑制」。

超高齢化に陥っている町に若者を呼び込むための観光施策、産業振興、広報施策、空き家対策、利便性向上、学校魅力化などに多くの専門家を巻き込みながら包括的に取り組んでいます。



役場職員によるワークショップ（那賀町）



道の駅情報発信セミナー（島根県）

実績

- ◎徳島県那賀町（2022年10月～）包括連携協定に基づく地域ブランディング活動
 - ・選抜職員から編成する「みらい創造プロジェクト」ファシリテーター（1年間計20回以上）
 - ・「観光PR」「廃校利用施策」「空き家対策」「農林業DX」「住民サービスDX」等企画。
- ◎熊本県氷川町（2023年1月～）包括連携協定に基づく地域ブランディング活動
 - ・「ブランディングプロジェクト」ワークショップ、「道の駅活性化」「新規事業誘致」等企画。
 - ・全住民対象の町の課題発見調査（定量調査）実施、移住者のインサイト調査（定性調査）実施。
- ◎鹿児島県阿久根市（2023年8月～）包括連携協定に基づく地域ブランディング活動
 - ・ブランディング前段階の職員各課の課題棚卸調査実施。※具体施策は今後タスクフォースで立案。
- ◎和歌山県橋本市（2023年8月）職員向け情報発信セミナー講師（職員400名参加）
- ◎島根県（23年11月）道の駅経営者向け情報発信セミナー講師（道の駅関係者40名参加）

工夫した点や苦労した点

地域活性化の具体的施策については、その実施主体となる自治体職員の方々が「自分がやりたい！」と意欲的になって頂くことが肝要だと思います。組織や職員個々のモチベーションを高く維持してプロジェクトを進行することに神経を使いました。また、比較的小規模自治体は民間プレイヤーも少ないことから、官民連携のためのブリッジ役として、ネットワークを駆使して専門家を誘致することにも努力しています。

ひとことPR

ブランディングのプロとして、多くの専門家たちを巻き込みながらプロジェクトマネジメントを行っていきます。広告制作会社出身らしく、自らブランニング、クリエイティブディレクション、コピーライティング、ファシリテーション等も行うことができます。執行役員経験者として地域を経営的観点からも凝視し、未来に明るいまちを作っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
<input type="checkbox"/> 地場産品発掘・販路開拓	<input type="checkbox"/> 中心市街地活性化
<input type="checkbox"/> 6次産業化	<input type="checkbox"/> 空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
<input type="checkbox"/> 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	<input type="checkbox"/> 商店街活性化
<input type="checkbox"/> 地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
<input type="checkbox"/> 地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
<input type="checkbox"/> 地域交通	地球温暖化対策
<input type="checkbox"/> 集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	<input type="checkbox"/> その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
<input type="checkbox"/> 建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
<input type="checkbox"/> 地区防災計画	<input type="checkbox"/> インバウンド対応
<input type="checkbox"/> BCP	民泊・農泊
<input type="checkbox"/> 避難所運営	<input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊の推進
<input type="checkbox"/> 感染症対策	<input type="checkbox"/> その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
<input type="checkbox"/> 滞在・活動の場づくり	<input type="checkbox"/> 起業・事業承継等支援
<input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊の推進	<input type="checkbox"/> 空地・空家対策
<input type="checkbox"/> 地域と関係人口の協働	<input type="checkbox"/> 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
<input type="checkbox"/> 結婚・出産・子育て支援	<input type="checkbox"/> 人材研修
<input type="checkbox"/> 働き方改革	<input type="checkbox"/> ふるさと教育
<input type="checkbox"/> 子どもの貧困対策	<input type="checkbox"/> 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
<input type="checkbox"/> 財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	<input type="checkbox"/> 地域ブランディング
<input type="checkbox"/> 官民連携(PPP・PFI)	<input type="checkbox"/> メディア活用策
<input type="checkbox"/> 自治体間連携	<input type="checkbox"/> 効果の把握・評価
<input type="checkbox"/> 住民参加	その他
<input type="checkbox"/> EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

株式会社博報堂プロダクツ	https://www.h-products.co.jp/

連絡先

メールアドレス	nobuyuki.z.itagaki[アットマーク]hakuhodo.co.jp		
---------	--	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。